（別紙）

制作テーマに関する詳細

<table>
<tr><td colspan="2">①テーマ</td><td>認知症の方も安心して暮らせる奈良県を目指して</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②訴求内容の詳細及び留意事項など</td><td>背景及び現状</td><td>奈良県の将来推計人口では、65歳以上の高齢者は、2020年の約42万人から2040年には約44万人に増加すると見込まれており、それに伴い、認知症の方の増加も予測されることから、認知症への正しい理解と、支え合いによる共生社会の実現に向けた取組みが重要である。
国においては、令和６年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」、12月には「認知症施策推進基本計画」が策定され、認知症の方ご本人の声を尊重し、その視点に立った施策推進により、誰もが個性と能力を活かし、支え合いながら共生できる社会の実現が目指されている。
奈良県においては、奈良県認知症施策推進計画にて「認知症の人にやさしい地域づくり」を推進しており、令和7年度は、認知症の方ご本人が主体となり、自らの体験や思い、日々の暮らしや希望を語り合う場である「認知症本人ミーティング」を新たに開催予定。</td></tr>
<tr><td>訴求の主な対象者</td><td>県民全体</td></tr>
<tr><td>具体的な訴求内容</td><td>【現状】2040年には高齢者の7人に１人が認知症になると推計されている（「令和6年度高齢者白書」より、2022年における認知症の高齢者数は約443万人（有病率12.3％）で、2040年には約584万人（有病率14.9％）になると推計されている）。
【尊重と理解】認知症の方も、それぞれに大切な経験と人生があり、一人ひとりの物語を尊重し、地域の一員として認め合い、共に支え合っていくことが大切であること。
【当事者の声の発信】奈良県本人ミーティングで得られた当事者の声（認知症の方が感じていること、必要としていること）を発信する。
【奈良県が目指す姿】認知症の方ご本人の声も一県民の声として大切にし、誰もが孤立せず、県民一人ひとりが共に支え合い、安心して暮らせる奈良県を目指したいこと。</td></tr>
<tr><td>制作に関する留意事項</td><td>・「奈良県認知症本人ミーティング」は、R7.10.27（奈良市）、R8.2.17（桜井市）の２回開催予定です。R7.10.27開催分における実際の当事者の発言・気持ち等を、個人が特定されないよう配慮したうえで本CM中に取り入れたいです。
・上記ミーティング開催に当たっては、「奈良県若年性認知症サポートセンター」「認知症の人と家族の会奈良県支部」にも協力いただいているため、本ＣＭ作成に当たっても両機関からもご意見をいただく予定です。
・温かみと穏やかさが伝わるBGMが良いです。</td></tr>
<tr><td>関連資料URL</td><td>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000167700.html（厚生労働省認知症施策関連ガイドライン等）
https://www.pref.nara.jp/item/306221.htm（奈良県認知症施策推進計画）
https://www.youtube.com/watch?v=hcrjvw5cBoM&feature=youtu.be（奈良県若年性認知症ピア活動啓発動画）</td></tr>
<tr><td colspan="2">③素材の提供</td><td>本人ミーティングチラシデータの提供
個人が特定されない形でのR7.10.27開催分の本人ミーティング写真や当事者の発言内容</td></tr>
<tr><td colspan="2">④その他の留意事項</td><td></td></tr>
</table>

みんなで繋がろう♫

令和７年度

奈良県認知症本人ミーティング

認知症と診断された方、最近物忘れが気になる方ご本人同士が集まり、自らの体験や希望、やりたいことなどを話し合ってもらう場です。

ご本人同士だからこそ、話し合えることがきっとあると思います。ぜひ、ご参加してみませんか？

日時 令和７年10月27日（月）13:30～15:00

受付開始は13:00で、途中の入退場は自由です♫

会場 BONCHI４階イベントスペースTEN

（〒630-8217 奈良県奈良市橋本町3-1）近鉄奈良駅から徒歩5分

※地図は裏面

参加 無料

申込 10月20日（月）までに奈良県地域包括支援課へ

お電話（☎：0742-27-8540）にてお申し込みください。

（名前、年齢、連絡先、同伴の方の名前（間柄））

＊付き添いの方同士でお話いただけるスペースを用意いたします。
（お一人でもご参加可能です）

ピアサポーター※も参加予定です☆

飲食物のご持参ＯＫです。
近くにテイクアウトできるカフェやコンビニがあります。
お好きなお飲み物等をご持参いただき、
今の生活や暮らしやこれからのこと等々...、
リラックスしながら自由にお話しましょう♫

◆ピアサポーターとは？
認知症の診断を受けた当事者の方が、ご自身の経験を生かし、同じ想いを抱える方の相談や支援を行う活動をされています。

個人の顔が特定できないように配慮し、ミーティングの風景や様子を記録し、後日広報する予定です。ご理解のほどお願いいたします。

【主催・問い合わせ先】奈良県福祉保険部地域包括支援課
（TEL：0742-27-8540）

【協力】奈良県若年性認知症サポートセンター
認知症の人と家族の会奈良県支部

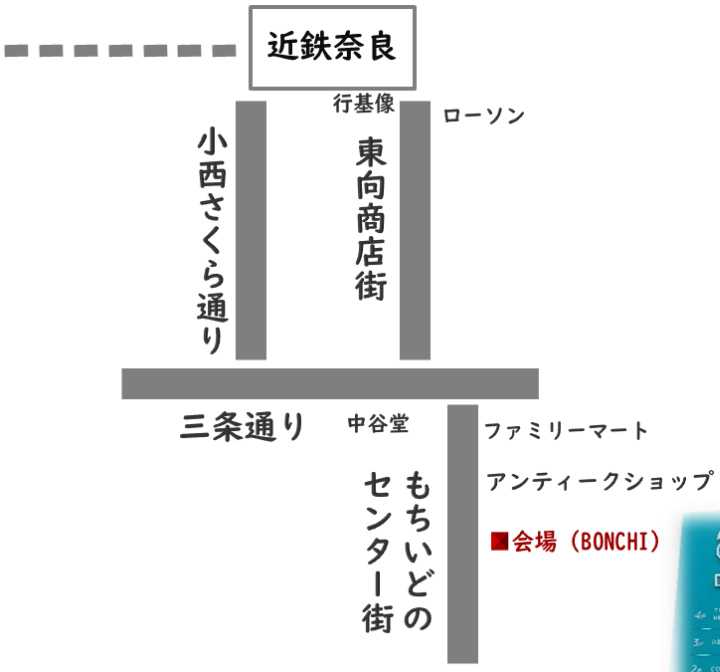
場所が分からない場合は、
奈良県地域包括支援課
（☎0742-27-8540）まで
お電話ください♪

■会場について

BONCHI４階イベントスペースTEN

（〒630-8217 奈良県奈良市橋本町3-1）近鉄奈良駅から徒歩5分

専用駐車場はございません。
お近くの駐車場・駐輪場をご利用ください。



■近鉄奈良駅からの道順

東向商店街に
入ります

東向き商店街
を進みます

三条通を左に
曲がります

中谷堂（餅屋）とファ
ミリーマートの間を右
に曲がると、もちいど
のセンター街です

もちいどのセンター街
を進みます

《会場》

左手に見える建物が
会場です

会場に入ると左手に
エレベーターがあります。
4階へお上がりください。

４階会場にて
お待ちしています

会場では靴を脱いで
お入りいただきます

→※　の内容は、当事者の声を聞き県担当者が感じとったことです。

奈良県認知症本人ミーティング（R7.10/27 開催）　当事者の声

■過去からの継続

・「幼い頃から競馬になじみがあり、競馬を楽しんでいる。最近は現地に行かなくてもネットで馬券を購入できるので、趣味を続けることができている。」（50 代・男性）

・「若い頃からスポーツをやっていた。することがないので、散歩に行くことが多い。１０km 以上歩くことも。コンビニを目標にしながら散歩し、ジュースを飲んでまた次のコンビニへ向かう、ということも楽しみの一つ。」(50 代・男性)

→認知症になったからといって、日常が急に変化するわけではない。これまで歩んできた人生の積み重ねが今の自分をつくり、その延長線上にこれからの毎日がある。それは、誰にとっても同じことである。

■自分の趣味・些細な楽しみ

・「葉物野菜を育てています。ちょっとした成長がとても楽しみなんです」（80 代・女性）

・「近くでよい。みんなで出かけて、みんなで何かを食べたい」（60 歳未満・女性）

・「一人旅をすることがある(事前に家族に言うとうるさく言われるので内緒で行く)。（大きい駅では対応が難しそうだが）最寄りの駅では行き先を伝えると列車の発着時間や乗り換えの時間、駅やバス停の名前など、行程を細かく記載したものを作成してくれる。そのため、一人で目的地まで行くことができる。（以前はネットを使い、自分で調べていたが、それだと漏れ落ちがあり、目的地にたどり着くことが難しかった。)」(50 代・男性)

→認知症になっても、日々の暮らしの中にある喜びや、今できる幸せを大切に過ごしている。

■家族・地域での役割

・「自分が認知症になっても子どもの母親であることは変わりない。こんな親だからって、子どもだけには迷惑をかけたくない。」（60 歳未満・女性）

・「認知症の自分が地域に貢献できること・活動できることを見つけていきたい」（60 歳未満・男性）

・「子どもの結婚式で関東まで式へ行きました。父親としてとても嬉しかったです。」（60 代・男性）

→認知症になっても“役割”は失われない。家族を思い、地域に貢献したいという気持ちは続いている。

■地域との繋がり

・「こんな場にはじめて参加できて、今日はとっても嬉しいです」（80 代・女性）

・「デイで素敵な仲間や職員と出会えて、この環境がとても幸せ。ずっとこの生活を続けたい。」（80 代・女性）

・「現在休職中で、誕生日を迎えるともうじき退職となる。先日地域で麻雀の会に入るよう誘われたので参加してきた。今後も声がかかれば参加したい。」（50 代・男性）

・「今でも仕事で関わった仲間から声をかけられて飲みに行くことがある。」（60 代・男性）

→「居場所がある」「仲間がいる」「誰かと笑い合える」ことが支えとなる。地域との絆が誰もが“孤立しない奈良県”をつくる。